

排外主義を抑制するのは市民か？エリートか？

: サーベイ実験を用いた政治的メッセージの発信主体の違いが人々の寛容性に与える影響の検証

北九州市立大学法学部 秦 正樹

Last Update 2017/11/26

補助資料

- 実験デザイン1 (7頁) について
 - ここで選択肢は、統制群では「0つ」～「3つ」、処置群では「0つ」～「4つ」
 - フレーム部分について実際の調査では「赤字」で強調
 - 「気にする項目」について、実際の調査では php を組んで順序もランダムに表示
 - 実査では調査補助フォーム「Qualtrics」を利用（調査作成時点は以下のような形）

Q5.4

日本社会には、日本に住む外国人やLGBTなどの「マイノリティ（社会的少数者）」に対する多くの偏見や差別が未だ多く残っているとされます。

こうした課題について、日本における **ごく一部の世論** には、「すべての人々が平等に暮らす『共生社会』の実現のためには、国民一人ひとりの意識改革が必要だ」との意見があります。

そこで、共生社会に関連するあなたのご意見についてお尋ねします。

以下のうち、あなたの隣人として住んでいて気になるのはどのような人々でしょうか。
あなたが「気にする」と思う人々の、項目の合計数を教えてください。

- **\${e://Field/List-1}**
- **\${e://Field/List-2}**
- **\${e://Field/List-3}**
- **\${e://Field/List-4}**

0つ

1つ

2つ

3つ

4つ

図 1: 調査設計時点での Qualtrics 画面

- 実験デザイン2 (9頁) について
 - 当該質問文は、リスト実験後の4問目に配置
 - ここでも、5 (+1 : satisficer) の質問の並びはランダム化

- スライド中「5点尺度」は誤りで、正しくは「4点尺度」です、すいません...
- 因子分析ではオブリミン回転を用いているが、プロマックスやその他回転でも結果はほぼ同様
- この satisfice 質問で「反対」以外を選択した人を分析から除外

● サーベイ実験の概要（10頁）について

- バランスチェックの結果について、一応までに結果を以下に示しておきます

表 1: バランスチェックの結果

	性別	年齢	教育程度	収入	地域規模	政治関心
言及なし (処置)	0.648	41.483	3.318	3.180	1.739	2.739
言及なし (統制)	0.594	41.859	3.348	3.434	1.691	2.797
多数世論 (処置)	0.620	41.682	3.347	3.508	1.638	2.869
多数世論 (統制)	0.547	41.796	3.354	3.480	1.713	2.762
多数エリート (処置)	0.584	41.409	3.335	3.224	1.722	2.943
多数エリート (統制)	0.646	41.529	3.291	3.492	1.762	2.854
少数世論 (処置)	0.623	42.728	3.270	3.477	1.740	2.804
少数世論 (統制)	0.600	41.838	3.311	3.557	1.715	2.804
少数エリート (処置)	0.657	40.802	3.276	3.589	1.678	2.789
少数エリート (統制)	0.573	42.613	3.405	3.484	1.755	2.727

- 同様に、本調査の代表性（のズレの程度）について記述統計とコードをお伝えしておきます。

表 2: いくつかの変数の記述統計

	平均値	標準偏差	最小値	最大値	観察数
性別	0.61	0.49	0	1	2125
年齢	41.78	9.87	18	76	2113
教育程度	3.33	0.98	1	5	2127
職業：正規雇用	0.55	0.50	0	1	2127
職業：非正規雇用	0.17	0.37	0	1	2127
職業：無職	0.28	0.45	0	1	2127
地域規模	1.72	0.57	1	3	2127
世帯収入	3.45	1.75	1	7	1806
政治関心	2.81	0.76	1	4	2127

性別

1. 男性
0. 女性

教育程度

1. 中学校
2. 高校
3. 短大・高専・専門学校
4. 4年生大学
5. 大学院

職業

1. 正規雇用（民間企業の正社員＋公務員＋自営業＋農林漁業）
2. 非正規雇用（派遣社員＋パート・アルバイト（フリーター含む））
3. 無職（無職（リタイア後含む）＋学生＋専業主婦／夫）

地域規模（逆転）

1. 政令市もしくは東京 23 区
2. 上記以外の一般市
3. 町村

世帯収入

1. ～200 万円程度
2. 200～400 万円程度
3. 400～600 万円程度
4. 600～800 万円程度
5. 800～1000 万円程度
6. 1000 万円以上
7. 2000 万円以上

政治関心（逆転）

1. たいへん関心がある
2. どちらかといえば関心がある
3. あまり関心はない
4. 全く関心はない

● 実験結果 2：OLS 推定の結果（12 頁）について

- － OLS 推定の結果のプロットの黒と赤の違いは特にありません。
（当日に）口頭で説明するときに、「大多数世論」と「少数エリート」の 2 つが負の方向にあることを示すために色を変えただけです。
- － OLS 推定の「言及なし」「大多数世論」「大多数政党」「少数世論」「少数政党」の変数は、各フレームごとのリスト実験における処置群（v.s. 統制群）の結果を示しています。たとえば、「大多数世論」（上から 4 つ目）は、Y 軸上の 0 のラインにかかっていないので、統制群に比べて、5%水準で統計的に有意に、選択する個数が増加する＝外国人を拒否する傾向にある、という解釈です。
- － 限界効果の方ですが、「大多数＋世論」と「少数＋エリート」の実験群のみに焦点をあてているため、それ以外の実験群の説明はしていません。
ただし、「少数＋エリート」実験群では、排外主義度が極端に高い（およそ 1.5 のあたり）になると、処置の効果が認められないことになっていますが、ここは「概ね」効果は認められるという解釈をしております。
このあたりはご異論もあろうかと思えます。また当日にご意見下さいますと幸いです。